

sangetsu

資料管理ナンバー及びQRコード
80008954



ロールスクリーン 交換スクリーン

T型メカ プルコード式/バスB型メカ プルコード式

T型メカ チェーン式/バスB型メカ チェーン式

T型メカ ワンタッチチェーン式/バスB型メカ ワンタッチチェーン式

取扱説明書 No.R-210036

初版

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
正しく安全にご使用いただくためによくお読みいただき、大切に保管してください。

販売店様・施工業者様へのお願い

本書は、お客様が本製品を適切にご使用いただくための説明・注意事項が記載されています。
必ずお客様にお渡しください。

目 次

■ 安全上のご注意	2
■ スクリーンの取外し方法	4
■ 交換用スクリーンの取付け方法	8
■ スクリーン巻きずれ対処方法	11
■ ブルセットの取付け/取外し方法(T型メカ・バスB型メカ プルコード式のみ)	12
■ スプリングの調整方法	14
■ “故障かな”と思ったら	16
■ お手入れ方法	17
■ 梱包材の処理方法	17

安全上のご注意(必ずお守りください)

※本書は、お買い上げいただいた製品を正しく安全にご使用していただくために特に注意していただくことを表示しております。取付け前に必ずお読みいただき、適切な取扱いをお願いいたします。

●本書では、表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる、危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



製品の取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。



製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。

●本書では、お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し説明しています。

（） 製品の取扱いにおいて、その行為を「禁止」する図記号です。

（） 製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する図記号です。

■取付け上のご注意（取付け前に必ずお読みください）



- 付属のブラケット取付けネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。
- 本製品を取付ける下地の強度や材質を確認し、施工してください。確実に下地に取付けていない場合は落下の原因になります。
- 取扱説明書に記載されているブラケット取付け数量と取付け位置、取付け方法は必ずお守りください。本体が落下する恐れがあります。



- 本製品は屋内用です。屋外へは取付けないでください。
- T型メカ プルコード式、T型メカ チェーン式、T型メカ ワンタッチチェーン式は、高温多湿の条件下や水に濡れることが予想される場所へは取付けないでください。
- バスB型メカはサウナやサンルームのような、高温になる場所へは取付けないでください。
- 製品は、水平に取付けてください。
- セットバーをつかんで製品を持つのはおやめください。故障の原因となります。

■使用上のご注意（ご使用前に必ずお読みください）



（） 子供は思わぬ行動をとります。大人の常識は通用しません。お子様をコードやチェーンで遊ばせないでください。



（） コードやチェーンが体に巻きついたり、引っかかるようなことをしないでください。事故の恐れがあります。

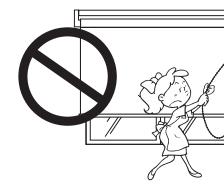
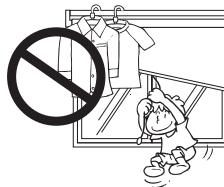


（） 小さなお子様がいるご家庭では、ブラインドやスクリーンのコードやチェーン類の近くに、ソファーやベッドを置かないでください。ソファーやベッドに上がれば手が届き、事故の恐れがあります。

（） 操作をしない時は、お子様の手が届かない位置でボールチェーンを束ねて、コードクリップで留めてください。

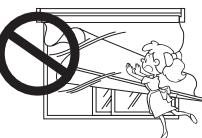
（） 製品に物を吊り下げたり、ぶら下がらないでください。製品が破損したり、落下する恐れがあります。

（） 急激な操作や無理な操作は、絶対におやめください。製品の落下や、破損などの恐れがあります。



（） 必ずボールチェーンまたはブルボール、ブルグリップ、フラットグリップを持って操作を行ってください。スクリーンやローラーパイプ、ウエイトバーを持って操作を行うと、製品の破損や故障の原因になります。

（） 強風の時は、必ず窓を閉めるかスクリーンを巻上げた状態にしてください。



（） 開閉動作の範囲内に破損の恐がある物や操作の障害となる物を置かないでください。



（） 製品は製品高さ以上にスクリーンを引き出さないでください。スクリーン及びその他部品の落下、破損の原因になります。

（） メカ部の分解や可動部への注油は、破損や故障の原因となりますので絶対におやめください。

（） 火のそばでのご使用は絶対におやめください。

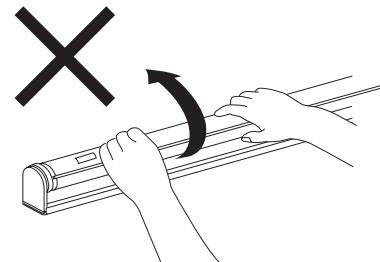
（） 加湿器は製品から離してご使用ください。製品近くで加湿器を使用しますと、水道水のミネラル成分等が白い粉となり、製品に付着して動作不良等の原因となる場合があります。

スクリーンの取外し方法

注意

〈製品巾2000mm以下の場合〉

- ① スクリーンを外した状態でローラーパイプを矢印の方向に少し回すと、ストッパーが解除され、パイプが自動的に逆回転し、スプリングの設定(初巻き)が解除されてしまいます。スクリーンを外してから取付けるまでパイプを回さないように注意してください。
- ② スプリングの設定(初巻き)が解除された場合は、P.14「スプリングの調整方法」に従って、再調整してください。



■スクリーンの取外し方法

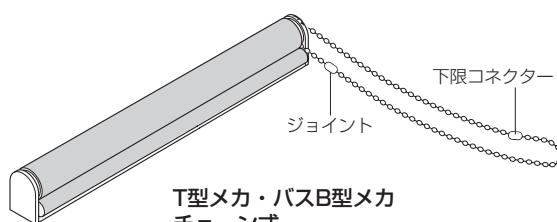
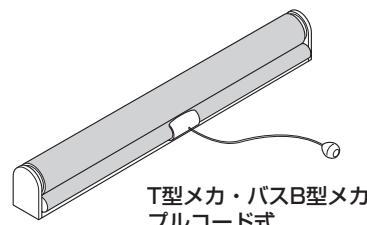
①本体を取り外します。

スクリーンを巻き上げた状態で本体を持ち、ブラケットの解除ボタンを押しながら(①)セットバーを手前に引き(②)、セットバーを仮止めフックから外してください。

注意

- ① ブラケットからセットバーを取り外す際は、必ず手で本体を支えながら作業してください。

②本体を図のように置いてください。



※ 製品巾2005mm以上のは、初巻き解除防止の設定を行ってください。

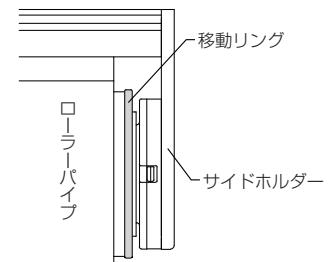
製品巾2000mm以下の場合は、③に進んでください。

〈初巻き解除防止の設定方法〉

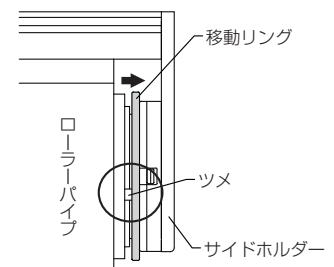
注意

- ① 製品巾2005mm以上の場合は、ローラーパイプに搭載されるスプリングの影響でスクリーンの取付け/取外しが難しくなります。無理な交換操作は怪我や商品の故障につながる恐れがあります。必ず初巻き解除防止の設定を行ったうえでスクリーンの取付け/取外しを行ってください。

① ローラーパイプ側にある移動リングを手やドライバー(製品に付属されておりません)でサイドホルダー側に移動させてください。移動リングは製品巾2005mm以上のT型メカ チェーン式のチェーン側と逆側についています。

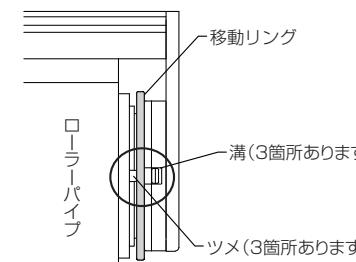


② 移動リングをサイドホルダー側に寄せるとローラーパイプと移動リングの間にツメが出てきます。

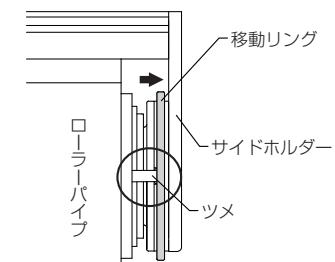


③ ローラーパイプを手で回しツメをサイドホルダー側の溝位置に合わせ、移動リングを更にサイドホルダー側に移動させてください。

※ ツメと溝はそれぞれ3箇所あります。合わせやすい組み合わせで行ってください。



④ スプリングの初巻きがロックされ、解除防止が設定されました。次の作業に進んでください。



② 移動リングをサイドホルダー側に移動させます
※ 移動リングは完全にサイドホルダー側に移動させてください。

③ P.12～P.13の「プレセットの取付け/取外し方法」に従って、プレセットを取り外してください。
(T型メカ・バスB型メカ ブルコード式のみ)

④ ローラーパイプが露出するまでスクリーンを引き出します。

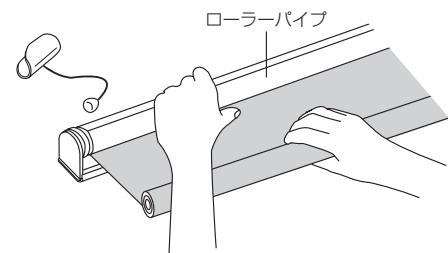
〈T型メカ・バスB型メカ ブルコード式の場合〉

①スクリーンを少し引き出しストップさせてください。

②引き出したスクリーンをウエイトバーに巻きつけてください。

③ローラーパイプが露出するまで①、②を繰り返し行ってください。

※スクリーンがストップしてない状態で手を離すとスプリングが巻き取られてしましますのでご注意ください。



〈T型メカ・バスB型メカ チェーン式の場合〉

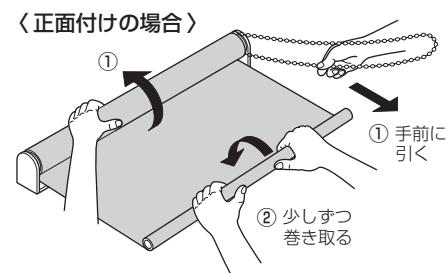
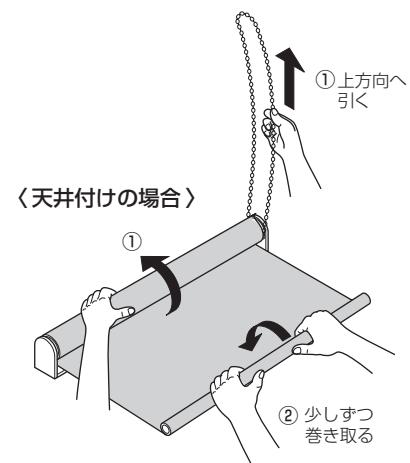
①片手でボールチェーンを引っ張り、もう一方の手でローラーパイプを回転させながらスクリーンを少しづつ引き出してください。

※下限コネクター(P.4をご参照ください)がついている場合は①を行う前に取外してください。

※スクリーンの取付け時(P.9をご参考ください)に再び下限コネクターを取付けますので、下限コネクターを取外した位置に印を付けておくと後の作業が簡単になります。

②引き出したスクリーンをウエイトバーに巻きつけてください。

③ローラーパイプが露出するまで①、②を繰り返し行ってください。



〈T型メカ・バスB型メカ ワンタッチチェーン式の場合〉

①片手でボールチェーンを引っ張り、もう一方の手でローラーパイプを回転させながらスクリーンを少しづつ引き出してください。

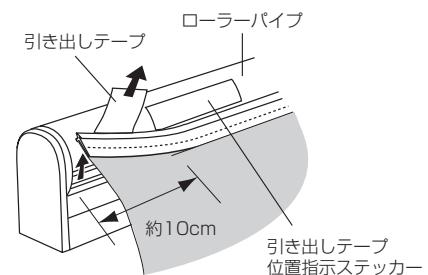
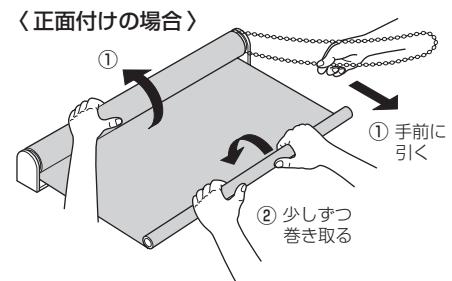
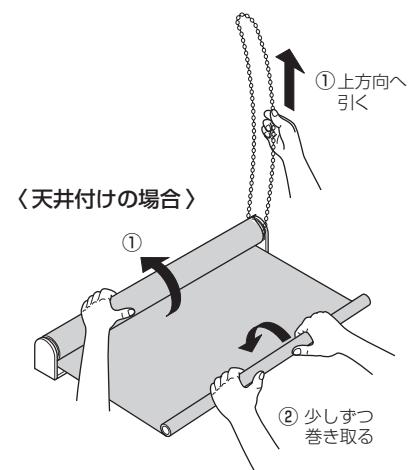
※下限コネクター(P.4をご参考ください)がついている場合は①を行う前に取外してください。

※スクリーンの取付け時(P.10をご参考ください)に再び下限コネクターを取付けますので、下限コネクターを取外した位置に印を付けておくと後の作業が簡単になります。

②引き出したスクリーンをウエイトバーに巻きつけてください。

③ローラーパイプが露出するまで①、②を繰り返し行ってください。

※スクリーンがストップしてない状態で手を離すとスプリングが巻き取られてしましますのでご注意ください。



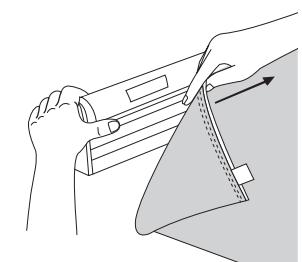
⑤スクリーンをローラーパイプから取外してください。

※スクリーンが巻き戻らないようにストッパーがかかっていることを確認してください。

①引き出しテープを持ち上げ、スクリーンを約10cm位引き出してください。

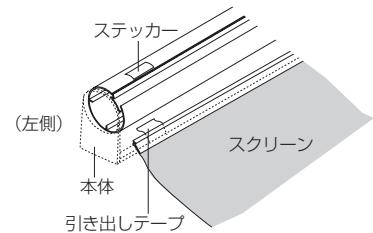
②スクリーン上端の白い樹脂部分とローラーパイプの間に指をはさみ、そのままスライドさせてスクリーンを外してください。

※取外したスクリーン本体を再度お使いいただく場合は、交換用スクリーンが入っていた梱包材などを使い、大切に保管してください。

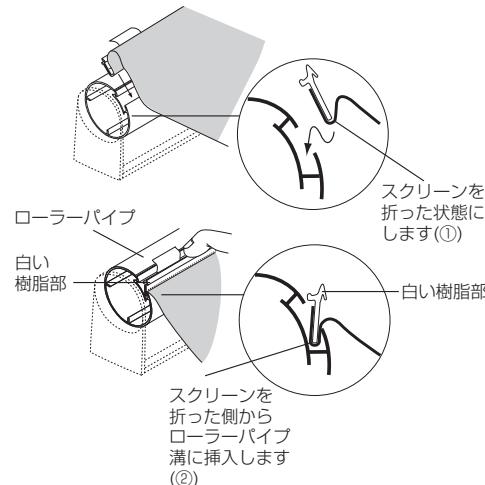


交換用スクリーンの取付け方法

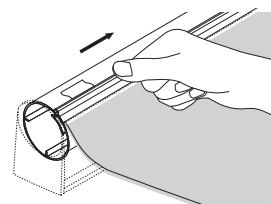
- ① ステッカーの位置が左側にくるように本体を置き、引き出しテープが左側にくるようにスクリーンを本体の手前に置いてください。



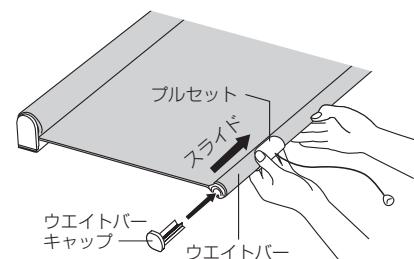
- ② スクリーンを図のように折った状態にして(①)、スクリーン上部の白い樹脂部分をローラーパイプの溝に差し込んでください(②)。



- ③ 右方向へ指を軽くスライドさせながらスクリーンを取付けてください。



- ④ P.12~P.13の「プレセットの取付け/取外し方法」に従って、プレセットを取付けてください。(T型メカ・バスB型メカ ブルコード式のみ)



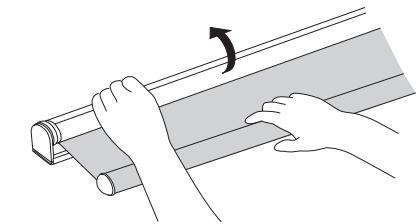
注意

- 必ずプレセットをウエイトバー中央にセットしてください。

- ⑤ スクリーンをローラーパイプに巻き取ります。

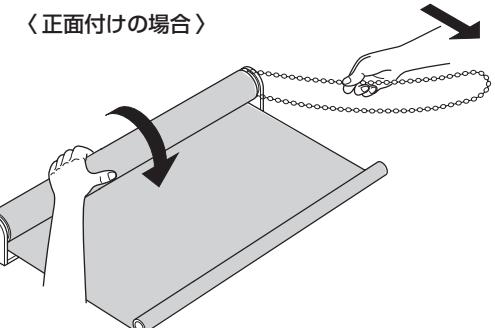
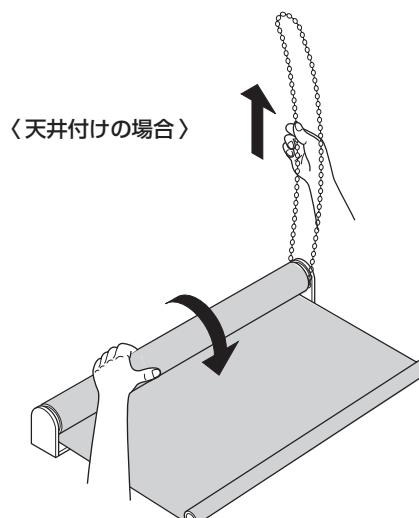
〈T型メカ・バスB型メカ ブルコード式の場合〉

- ローラーパイプを矢印の方向に少し回すと、ストッパーが解除され、自動的にスクリーンがローラーパイプに巻かれます。スクリーンが巻きあがる際はローラーパイプが高速で回転しますのでローラーパイプを手で持つてブレーキをかけながらスクリーンを巻き取ってください。



〈T型メカ・バスB型メカ チェーン式の場合〉

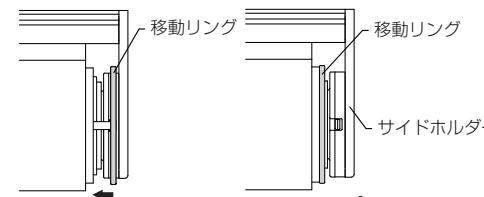
- イラストのように片手でボールチェーンを引っ張り、もう一方の手でローラーパイプを回転させながらスクリーンを少しずつ巻き取ってください。
※ ボールチェーンにスクリーン取外しの際に取外した下限コネクターを取付けてください。
(下限コネクターはスクリーンのオーバーランを防止するための部品です。取付け位置は自由に調整することができます。)



※ 製品巾2005mm以上のは場合は、初巻き解除防止の設定を解除してください。製品巾2000mm以下の場合は、⑥に進んでください。

〈初巻き解除防止の設定解除方法 製品巾2005mm以上の場合〉

- スクリーンの取付けが終わりましたら移動リングをパイプ側に移動させもの状態に戻し、初巻きのロックを解除してください。



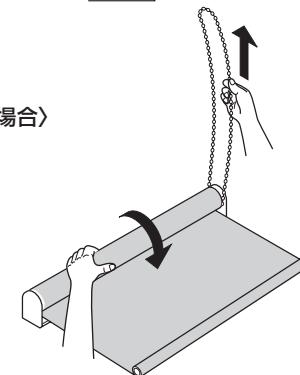
〈T型メカ・バスB型メカ ワンタッチチェーン式の場合〉

- イラストのようにチェーンを少し引くとトップバーが解除され、自動的にスクリーンがローラーパイプに巻かれます。スクリーンが巻き上がる際はローラーパイプが高速で回転しますのでローラーパイプを手で持ってブレーキをかけながらスクリーンを巻き取ってください。

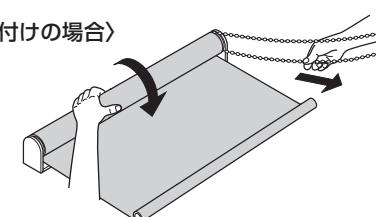
※ボールチェーンにスクリーン取外しの際に取外した下限コネクターを取付けてください。

(下限コネクターはスクリーンのオーバーランを防止するための部品です。取付け位置は自由に調整することができます。)

〈天井付けの場合〉



〈正面付けの場合〉



⑥本体を取付けます。

セットバーの外溝をブラケットの仮止めフック(解除ボタンのある側)に引っ掛けください(①)。セットバーを奥に『カチッ』と音がするまで押し上げてください(②)。

!**注意**

- セットバー取付け後、確実にセットバーがブラケットに固定されていることをご確認ください。

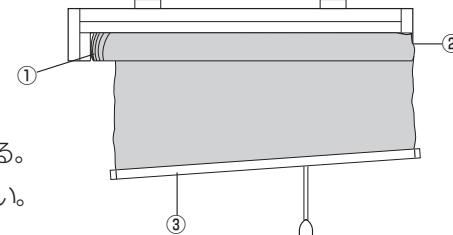
⑦本体取付け後に何度か昇降操作を行って正常に動作するか確認してください。

スクリーン巻きずれ対処方法

- スクリーンが巻きずれていると、スクリーンを昇降できなくなったり、スクリーンが破損(しわ、やぶれ等)する恐れがあります。出荷時に、調整をしてありますが、取付け場所の関係等により、巻きずれが発生した場合は、以下の手順で巻きずれを補正してください。

〈スクリーンが巻きずれた状態とは?〉

- ①スクリーンが「竹の子」状になる。
- ②スクリーンがサイドホルダーセットに当たる。
- ③ウエイトバーが左右均等(水平)にならない。

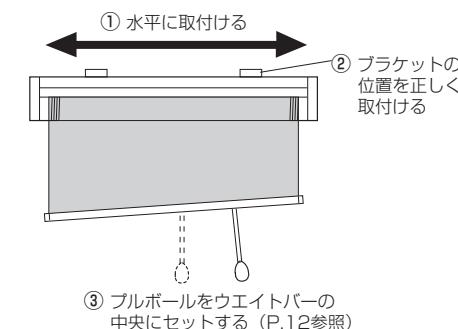


■巻きずれの補正方法

- ①まず製品が正しい状態になっているか確認してください。

- ①製品が水平に取付けられているか?
- ②ブラケットが正しい位置に付いているか?
- ③ブルボールがウエイトバーの中央にセットされているか?

※正しくない場合は、正しい状態に直してください。

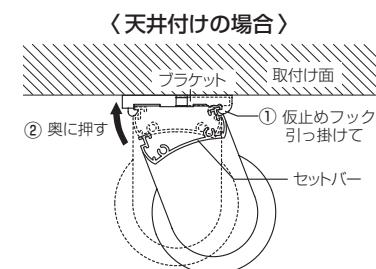
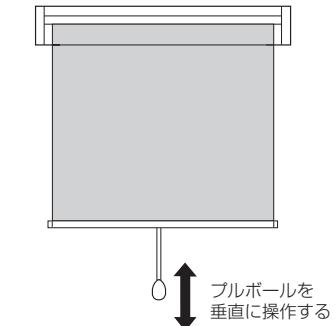


- ②昇降操作を2~3回くり返してください。

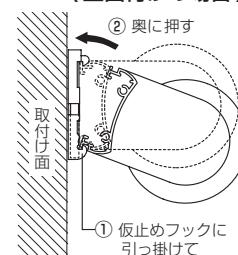
- ③それでも巻きずれが直らない場合は、付属の巻きずれ調整シールを使って巻きずれを直してください。

※巻きずれ調整シールの使用方法は、調整シールの裏面をご覧ください。

※チェーン操作の製品で、下限コネクターによりスクリーンが引き出しきれない場合、一度下限コネクターを取り外してください。



〈正面付けの場合〉



プルセットの取付け/取外し方法(T型メカ・バスB型メカ プルコード式のみ)

※プルセットには、プルボールセット、プルグリップセット(オプション)、Nフラットグリップ(オプション)、ヌード用プルボールセット(オプション)があります。スクリーンの着脱等でプルセットの取付け・取外しが発生する場合は、それぞれの手順に従って作業を行ってください。

※プルセットの取付け、取外しを行う際はスクリーンを30cmほど引き出して作業を行ってください。

※スクリーンの操作方法については製品の取扱説明書をご覧ください。(プルセットの取付け時はウエイトバー中央を持って操作してください。)

〈プルボールセットの場合〉

■ 取付け方法

- ① ウエイトバーから片側のウエイトバー キャップを外してください。
- ② 固定レバーが裏側(窓側)になる向きで、 プルボールセットをウエイトバーに差し込んでください。
- ③ ウエイトバーの中央にプルボールセットの 位置を合わせ、プルボールセット裏側の 固定レバーを倒して固定します。最後にウエ イトバーキャップをウエイトバーにはめて ください。

■ 取外し方法

- 取付け方法の逆の手順(③→②→①)で取 外してください。

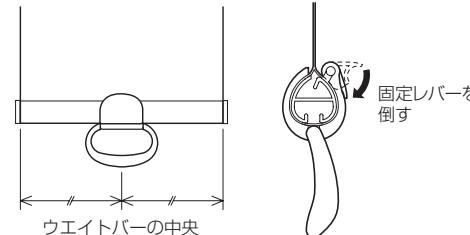
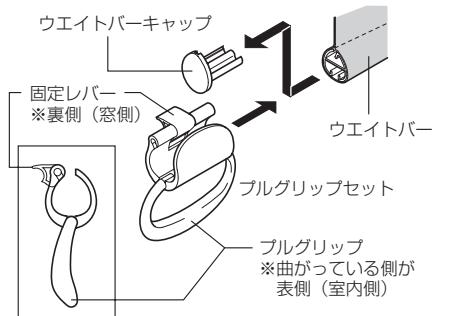
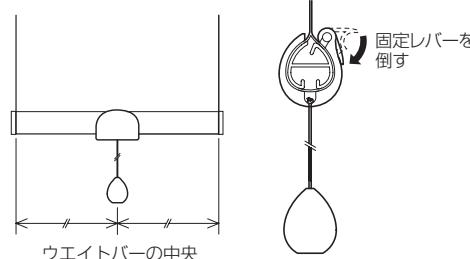
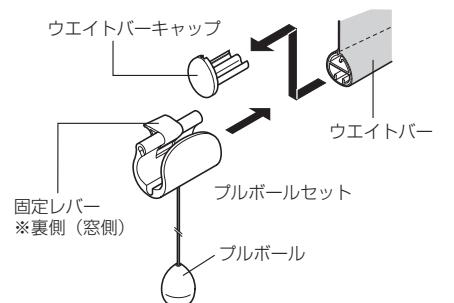
〈プルグリップセット(オプション)の場合〉

■ 取付け方法

- ① ウエイトバーから片側のウエイトバー キャップを外してください。
- ② 固定レバーが裏側(窓側)になる向きで、 プルグリップセットをウエイトバーに差し込んでください。
- ③ ウエイトバーの中央にプルグリップセットの 位置を合わせ、プルグリップセット裏側の 固定レバーを倒して固定します。最後にウエ イトバーキャップをウエイトバーにはめて ください。

■ 取外し方法

- 取付け方法の逆の手順(③→②→①)で取 外してください。



〈Nフラットグリップ(オプション)の場合〉

■ 取付け方法

- ① ウエイトバーから片側のウエイトバー キャップを外してください。
- ② Nフラットグリップをウエイトバーに差し込んでください。
- ③ ウエイトバーの中央にNフラットグリップの 位置を合わせ、固定レバーを下に倒してください。最後にウエイトバー キャップをはめてください。

■ 取外し方法

- 取付け方法の逆の手順(③→②→①)で取外してください。

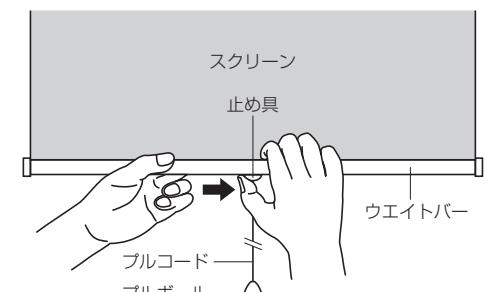
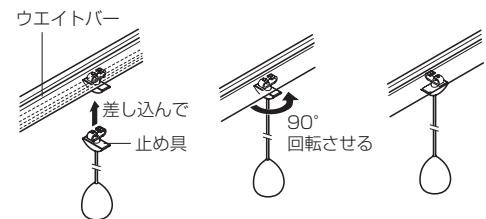
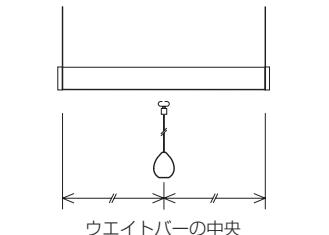
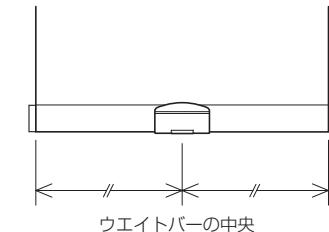
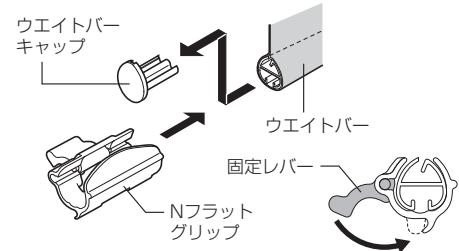
〈ヌード用プルボールセット(オプション)の場合〉

■ 取付け方法

- ① ウエイトバーの中央に位置を合わせ、ウエイト バー下の溝に止め具を差し込んでください。
- ② 止め具を90°回転して固定してください。

■ 取外し方法

- 取付け方法の逆の手順(②→①)で取外してください。



■ ヌード用プルボールセットの移動方法

- ヌード用プルボールセットの位置を調整等で 移動する場合は、ウエイトバーに固定している 止め具(樹脂製部品)を、直接指で押してスライドさせてください。



注意

- スライドする際、片手でウエイトバーをしつかり押させて作業を行ってください。
- プルボール、プルコードは、斜めに引っ張らないでください。製品の破損、落下の 恐れがあります。

スプリングの調整方法

注意

スプリングの調整を行う場合は、スピードを確認しながら調整を行ってください。
過度にスプリングを強くしますと破損の原因となり、昇降不良につながります。

●本製品は、出荷時にスプリングの調整を完了しておりますが、スクリーンの巻き上げスピードの微調整を行いたい場合やスクリーン着脱時にスプリングの設定（初巻き）を解除してしまった場合に調整を行ってください。

●スプリングの設定（初巻き）が解除してスクリーンが巻き上がらなくなった場合は、サイドホルダー側から調整を行ってください。

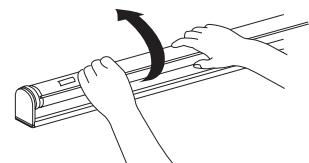
※T型メカ・バスB型メカ ブルコード式 / ワンタッチチェーン式の場合（製品巾 600mm 以上）スクリーンが完全に巻き上がる前に一旦ブレーキがかかりその後ゆっくり巻き上がる『スローストップ機能』が標準装備されておりますがその動作位置や速度調整は出来ません。

ローラーパイプを用いた調整方法

（T型メカ・バスB型メカ ブルコード式/ワンタッチチェーン式のみ）

※スクリーンの取外しの際にスプリングの設定（初巻き）が解除された場合、以下の①～④に従って調整してください。

- ※スクリーンの取外し方法についてはP.4をご覧ください。
- ① 矢印の方向にローラーパイプを回してください。
- ② 反発を感じるまで回し、ローラーパイプをストップさせてください。
- ③ P.8「交換用スクリーンの取付け方法」の通りにスクリーンを取付けてください。
- ④ スクリーンを取付けた後、さらにスプリングの調整が必要な場合、サイドホルダー側からスプリングの調整を行ってください。



※ローラーパイプを矢印の方向と逆に回すと部品が破損し故障の原因となります。
必ず、矢印の方向に回してください。

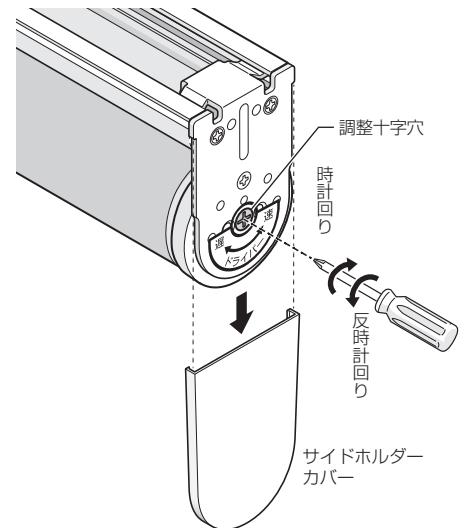
■サイドホルダー側からの調整方法

（T型メカ・バスB型メカ ブルコード式 / ワンタッチチェーン式の場合）

●サイドホルダーセットのカバーを下方向にスライドさせて外し、プラスドライバー（No.2）（製品に付属されておりません）で調整十字穴を回し調整を行ってください。

- ・時計回りに回すと巻き上げスピードが遅くなります。
- ・反時計回りに回すと巻き上げスピードが速くなります。

※基本的に製品に向かって右側のサイドホルダーセットがスプリング調整側になります。

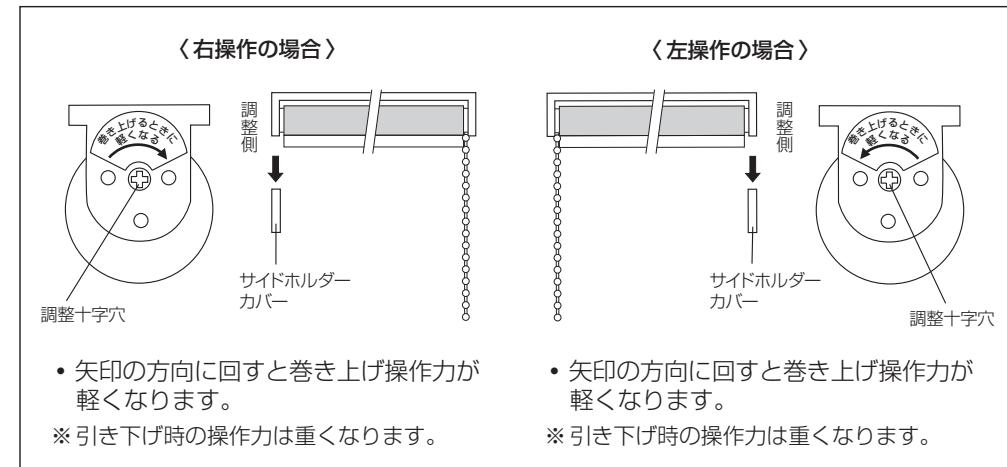


（T型メカ・バスB型メカ チェーン式の場合）

※調整十字穴のない製品はスプリングセットを内蔵しておりませんので、調整はできません。

※右操作と左操作では、回す方向が逆になりますのでご注意ください。

●操作側（チェーン側）と反対のサイドホルダーセットのカバーを下方向にスライドさせて外し、プラスドライバー（No.2）（製品に付属されておりません）で調整十字穴を回し調整を行ってください。



“故障かな”と思ったら

■こんなとき

現象	原因	処置
●スクリーンが巻き上がらない。又は、スピードが極端に遅く、途中で止まってしまう。	➡スプリングの設定(初巻き)が解除されているか、極端に弱くなっていると思われます。	●P.14『スプリングの調整方法』をご覧ください。
●スクリーンが巻き上がる際にサイドホルダーセットにあたってしまう。(巻きずれてしまう。)	➡製品が水平に取付いていない。ブラケットが正しい位置に付いていない。プルボールがウエイトバーの中央にセットされていない。	●P.11『スクリーン巻きずれ対処方法』をご覧ください。

お手入れ方法

- 日頃のお手入れはハタキやハンドモップ等でほこりを落としてください。
- 水拭きや水のかかる場所でのご使用は、スクリーンが変色する場合がありますので避けてください。
- スクリーンは特殊樹脂加工されていますので折ったり曲げたりするとシワやクセが残りもとに戻らない場合がありますので十分注意してください。
- 生地がほつれた場合は、ほつれた生地の端部をハサミで切り取ってください。

〈浴室の場合〉

- こまめな換気による乾燥で室内の除湿を行ってください。
- 浴室使用後は温水シャワー(30~40°C)でスクリーンに付着した皮脂汚れや石けんカス等を洗い流してください。
- カビの発生を防ぐためには定期的な水洗い洗濯をおすすめします。
- スクリーンは濡れたまま巻き上げずに乾燥状態を保つようにしてください。

梱包材の処理方法



警告

- 🚫 不要になった梱包材は、幼児の手の届くところに置かないでください。頭からかぶるなどしたときに、口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

- 梱包材は可燃ゴミと不燃ゴミに分別して処分してください。
- 各自治体により分別基準が異なりますので、それぞれの自治体の規定に従って処理してください。

北海道支社

〒064-0804 北海道札幌市中央区南四条西
10-1004-2 SYOKUSANビル 3F
TEL.011-251-3150 FAX.011-251-3151

東北支社

〒984-0031 仙台市若林区六丁目字南98-1
TEL.022-287-3765 FAX.022-287-2995

北関東支社

〒330-0843 さいたま市大宮区吉敷町
4-262-16 マルキュー大宮ビル 8F
TEL.048-601-5500 FAX.048-711-2681

東京支社

〒140-8611 東京都品川区東品川3-20-17
TEL.03-3474-1181 FAX.03-3450-5038

中部支社

〒451-8575 名古屋市西区幅下1-4-1
TEL.052-564-3111 FAX.052-564-3191

関西支社

〒541-0053 大阪市中央区本町4-3-9
本町サンケイビル 15F
TEL.06-6245-2301 FAX.06-6245-2302

中国四国支社

〒730-0017 広島市中区鉄砲町7-18
東芝フコク生命ビル 1F
TEL.082-223-8110 FAX.082-223-8120

九州支社

〒812-0892 福岡市博多区東那珂1-11-11
TEL.092-441-5181 FAX.092-441-5191